

フジテック株式会社(6406)

2014年11月26日(水)

FUJITEC

2015年3月期第2四半期
決算説明会

1 2015年3月期 第2四半期概況

2 2015年3月期 業績見通し

1

2015年3月期 第2四半期概況

1-1. 連結決算の概要

売上、利益とも2期連続で過去最高を更新

(単位:百万円)

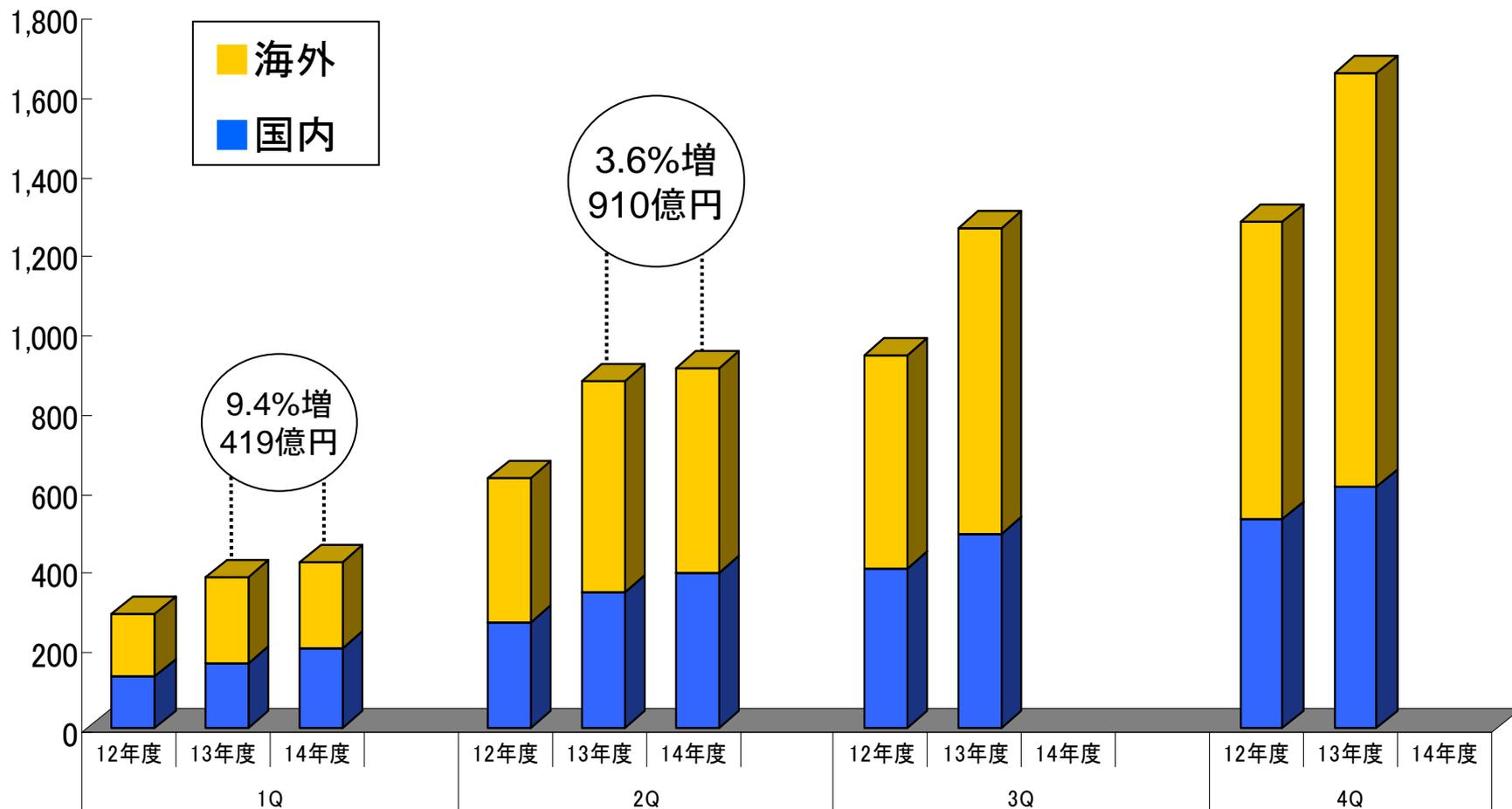
	2015/3 (2Q)	構成比 (利益率)	2014/3 (2Q)	構成比 (利益率)	増減%	期初計画
受注高	91,045	100.0%	87,920	100.0%	+3.6%	-
国内	39,497	43.4%	34,461	39.2%	+14.6%	-
海外	51,547	56.6%	53,458	60.8%	△3.6%	-
売上高	73,976	100.0%	65,622	100.0%	+12.7%	75,000
国内	26,890	36.4%	25,716	39.2%	+4.6%	-
海外	47,085	63.6%	39,906	60.8%	+18.0%	-
営業利益	5,275	7.1%	5,053	7.7%	+4.4%	4,500
経常利益	5,906	8.0%	5,618	8.6%	+5.1%	4,600
四半期純利益	3,333	4.5%	2,992	4.6%	+11.4%	2,400
EPS	35.95円	-	31.99円	-	+3.96円	25.78円

平均為替レート：15/3期 2Q 1米ドル102.9円、14/3期 2Q 1米ドル93.9円

1-2. 四半期累計受注高の推移

国内は堅調に推移、海外は改善傾向

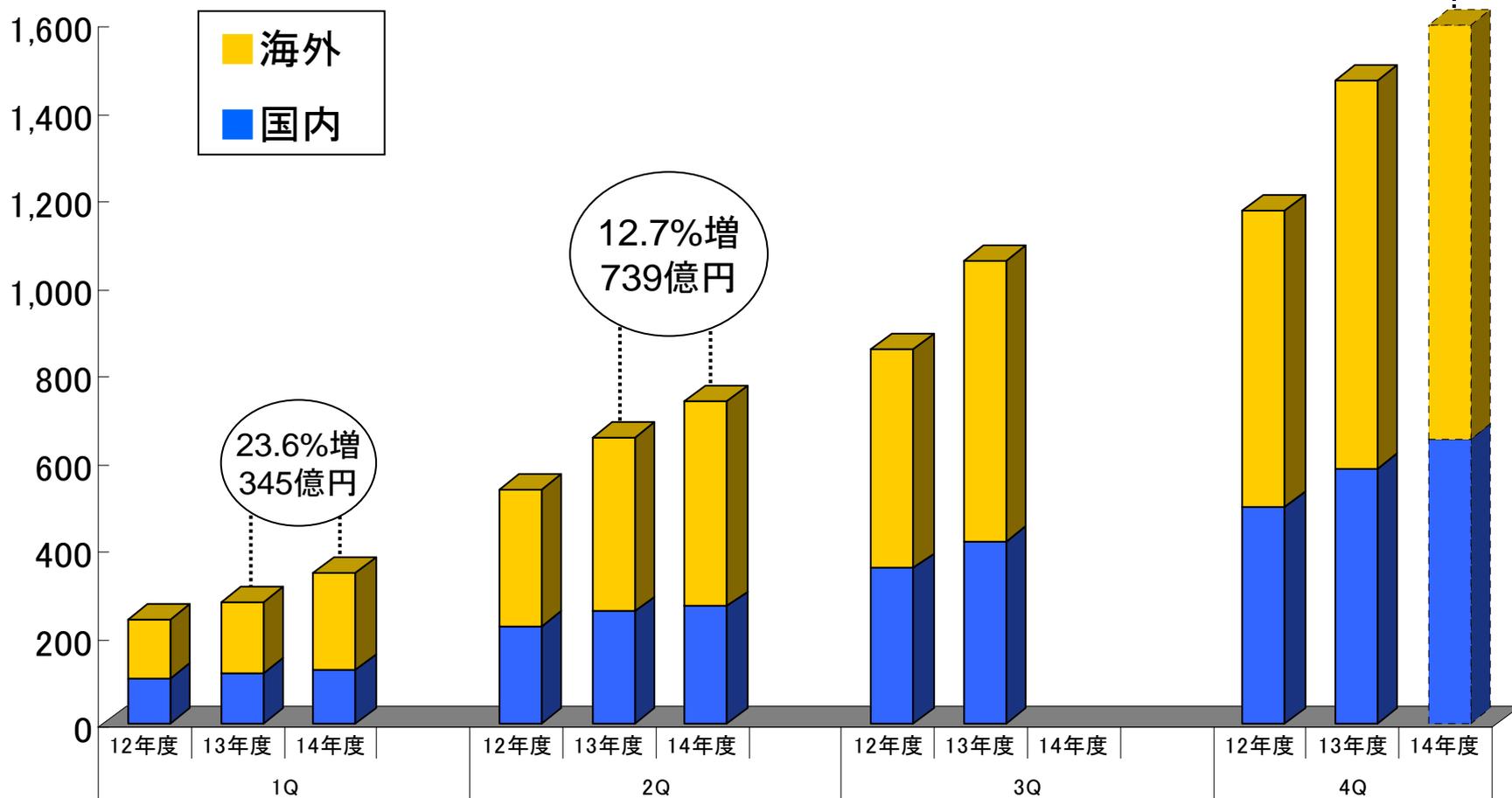
(単位:億円)



1-3. 四半期累計売上高の推移

全セグメントで増収

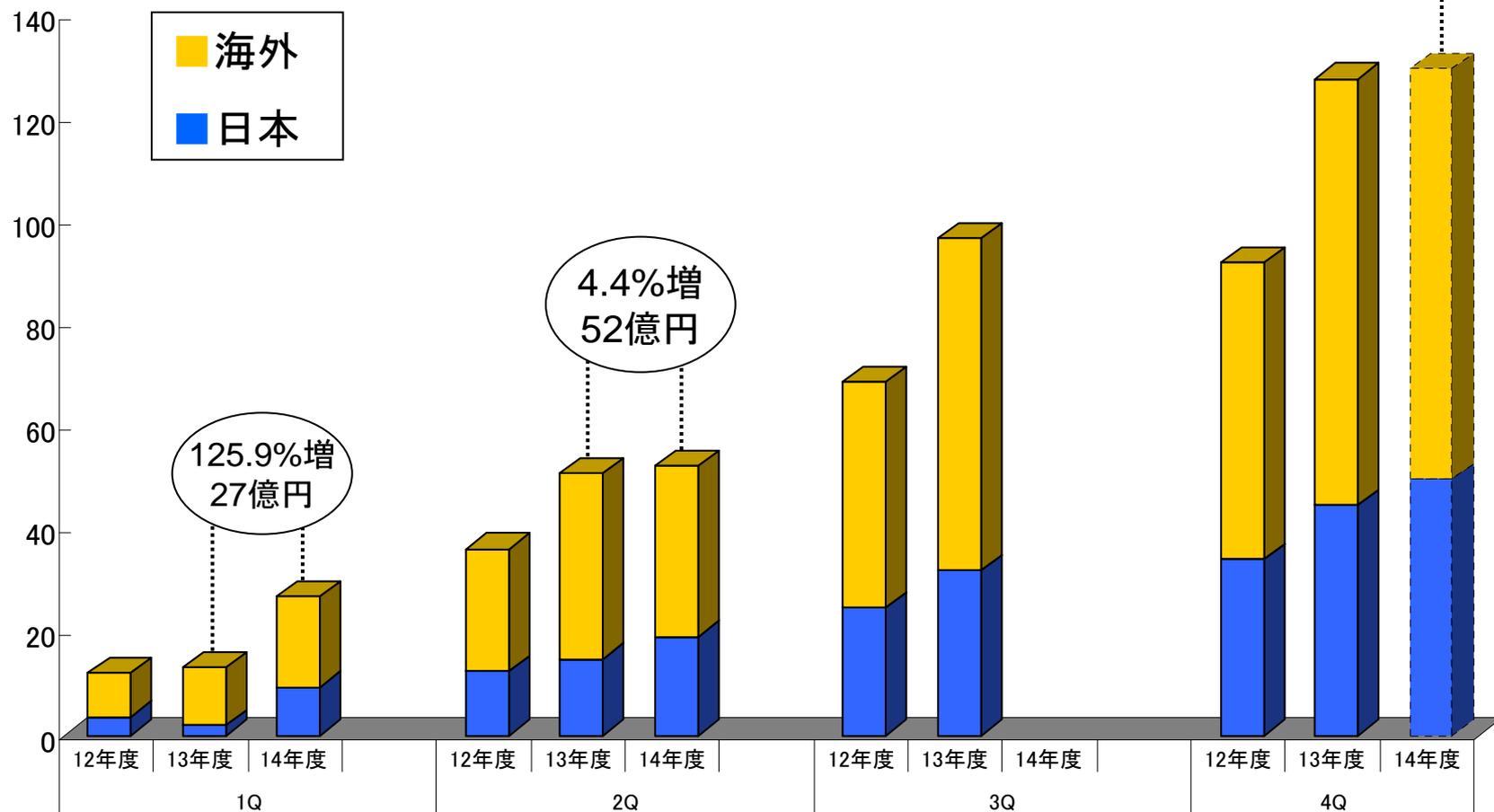
(単位:億円)



1-4. 四半期累計営業利益の推移

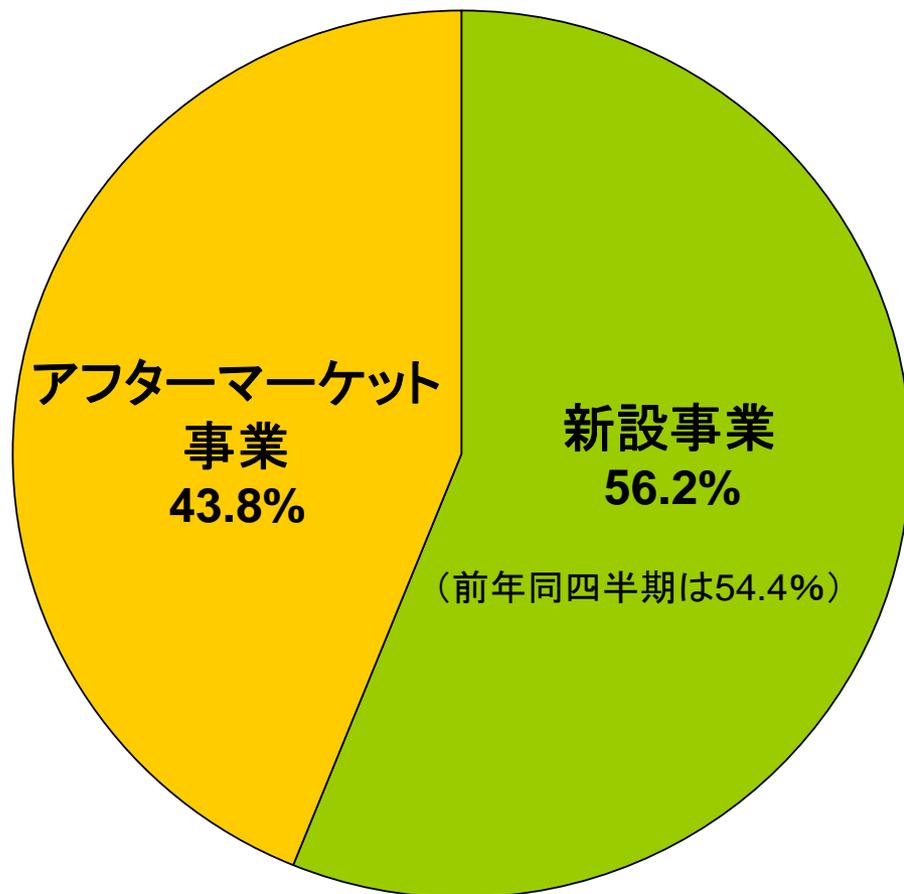
進捗は順調

(単位: 億円)

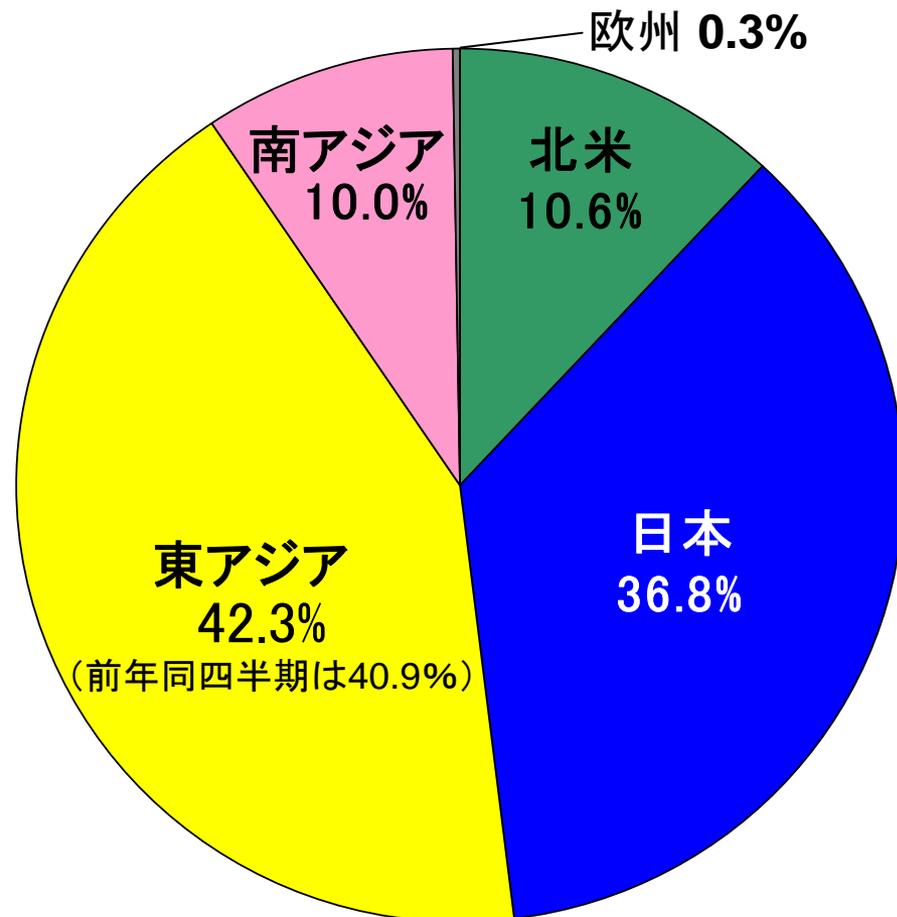


新設事業が増加。セグメント別は東アジアが拡大

事業別売上高



セグメント別売上高



1-6. セグメント別売上高・営業利益

日本が好調

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2015/3 (2Q)	2014/3 (2Q)	増減%	2015/3 (2Q)	2014/3 (2Q)	増減額
日 本	29,313	27,958	+4.8%	1,898	1,563	+334
東 ア ジ ア	34,465	29,061	+18.6%	3,085	2,848	+236
北 米	7,832	6,910	+13.3%	△571	△47	△524
南 ア ジ ア	7,422	5,939	+25.0%	812	913	△101
欧 州	269	206	+30.5%	△16	△21	+5
小 計	79,302	70,075	+13.2%	5,206	5,256	△49
調 整 額	△5,325	△4,452	-	68	△203	+272
合 計	73,976	65,622	+12.7%	5,275	5,053	+222

新設・モダニゼーションともに好調。増収増益

新設事業

- ・堅調な需要を背景に好調を維持
- ・受注は過去最高を更新
- ・生産性や受注採算の向上から利益率改善

アフターマーケット事業

- ・モダニゼーション受注は好調を持続
- ・駆け込み需要の反動で売上は前期並み
- ・原価低減により利益率が向上



虎ノ門ヒルズ(東京)



(仮称)銀座六丁目10地区
第一種市街地開発事業
(東京)

中国の新設受注は先送り傾向

中国

- ・価格競争の激化から販売単価が下落
- ・営業利益は固定費等の増加で減少

香港
台湾
韓国

- ・香港、台湾は新設受注が好調。
営業利益率も改善
- ・韓国は低調



望京SOHO(中国)



瀋陽裕景センター(中国)



香港小児医療センター(香港)

増収ながら減益

シンガ
ポール

- ・据付コストの上昇から利益率が低下

インド
アセアン
地域

- ・インドは総選挙の影響もあり低調
- ・アセアン地域では新設受注が増加



イオンモールタンフーセラドン
(ベトナム)



ザ・フォーラム・フィザ・モール
(インド)

北米の損失が拡大

北米

・据付コスト増加により損失拡大

欧州

・低調に推移



1717ブロードウェイ(米国)



カーネギー57(米国)

1-11. 連結決算 B/S

FUJITEC

(単位：百万円)

	2015/3 2Q	2014/3 4Q	増減額	備考
流動資産	112,757	111,271	+1,485	
現金及び預金	44,119	41,212	+2,906	東アジアの増加
受取手形及び売掛金	42,703	42,116	+587	
棚卸資産	19,377	19,929	△552	
その他	6,557	8,013	△1,456	
固定資産	44,535	42,993	+1,541	
有形固定資産	30,062	29,982	+80	設備投資 +1,439 減価償却 △1,044 為替ほか △315
無形固定資産	3,708	3,876	△167	
投資その他の資産	10,763	9,135	+1,628	日本の増加
総資産	157,292	154,265	+3,027	
流動負債	57,132	54,348	+2,784	未払法人税等 △2,088 短期借入金 +1,977 前受金 +3,932
固定負債	3,852	6,414	△2,562	退職給付に係る負債 △2,616
純資産	96,306	93,501	+2,804	利益剰余金 +3,933 為替換算調整勘定 △1,877 少数株主持分 +228
自己資本比率	55.4%	54.8%	-	
B P S	939.25円	912.40円	+26.85円	

1-12. キャッシュフローの動向

期末残高が増加

(単位：百万円)

	2015/3 2Q	2014/3 2Q	増減額
現金及び現金同等物期首残高	20,903	15,519	5,384
営業活動キャッシュフロー	5,141	5,207	△66
投資活動キャッシュフロー	△532	△473	△59
フリーキャッシュフロー	4,608	4,734	△126
財務活動キャッシュフロー	464	△576	+1,041
現金及び現金同等物期末残高	25,141	21,426	+3,714

2

2015年3月期 業績見通し

セグメント別の内訳を見直し

2015年3月期（期初計画）

2015年3月期（見直し）

	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日 本	640	48	7.5%
東アジア	770	67	8.7%
北 米	150	0	-
南アジア	150	18	12.0%
欧 州	8	0	-
小 計	1,718	133	7.7%
調 整 額	△118	△3	-
合 計	1,600	130	8.1%



	売上高 (億円)	営業利益 (億円、利益率)	
日 本	650	51	7.8%
東アジア	750	70	9.3%
北 米	160	△4	-
南アジア	145	16	11.0%
欧 州	5	0	-
小 計	1,710	133	7.8%
調 整 額	△110	△3	-
合 計	1,600	130	8.1%

平均為替レート：1米ドル98円

平均為替レート：1米ドル104円

日本

(単位：百万円)

	2015/3(見通し)	2015/3(期初)	増減%
売上高	65,000	64,000	+1.5%
営業利益	5,100	4,800	+6.3%
営業利益率	7.8%	7.5%	+0.3P

- ・ 新設、モダニゼーションともに需要は堅調
- ・ 新設は受注が好調。期初計画を上回る見通し
- ・ モダニゼーションは受注が堅調

東アジア

(単位：百万円)

	2015/3(見通し)	2015/3(期初)	増減%
売上高	75,000	77,000	△2.6%
営業利益	7,000	6,700	+4.5%
営業利益率	9.3%	8.7%	+0.6P

平均為替レート：1人民元17円

- ・ 中国は出荷の先送りの影響から減収
- ・ 原価低減活動から利益率は改善の見込み

南アジア

(単位：百万円)

	2015/3(見通し)	2015/3(期初)	増減%
売上高	14,500	15,000	△3.3%
営業利益	1,600	1,800	△11.1%
営業利益率	11.0%	12.0%	△1.0P

平均為替レート：1シンガポールドル82円

- ・ 据付コストの上昇から、営業利益率を引き下げ
- ・ インドは地場調達拡大とコスト削減に注力
- ・ アセアン地域は新設受注の拡大に注力

北米・欧州

(単位：百万円)

北 米	2015/3(見通し)	2015/3(期初)	増減%
売 上 高	16,000	15,000	+6.7%
営 業 利 益	△400	0	-
営 業 利 益 率	-	-	-
欧 州	2015/3(見通し)	2015/3(期初)	増減%
売 上 高	500	800	△37.5%
営 業 利 益	0	0	-
営 業 利 益 率	-	-	-

平均為替レート：1米ドル104円、1ユーロ139円

- ・ 北米は第3四半期、第4四半期で利益改善の見込み。
フィールド部門の強化から、据付損益の安定化に取り組む

設備投資・減価償却費・研究開発費・配当

(単位：百万円)

	2015/3 見通し	2014/3 実績	増減額
設備投資額	5,500	1,867	+3,633
国内	1,900	1,026	+874
海外	3,600	841	+2,759
減価償却費	2,400	2,237	+163
研究開発費	2,000	1,976	+24

(単位：円)

	2015/3 予定	2014/3 実績	増減額
配当金	24	22	+2
中間	12	9	+3
期末	12	13	△1

參考資料

社名	フジテック株式会社
設立	1948年2月 (1974年2月東証第一部上場)
本社	滋賀県彦根市 ビッグウィング
事業内容	エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守
資本金	125億33百万円（発行済株式数93,767,317株）
役員	代表取締役社長 内山高一 取締役：7名（うち社外3名） 監査役：4名（社外2名）
従業員数	連結 8,870名（個別 2,771名）
関係会社	32社（内、連結子会社18社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東）

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2014年11月26日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2014年11月26日

フジテック株式会社

2015年3月期第2四半期決算説明会資料

